

# 会議録

会議名	第2回佐久市公民館運営審議会
日時	令和5年3月24日(金) 午後3時30分～午後5時
場所	佐久市生涯学習センター 大会議室1
出席者	審議会委員 17名中4名欠席 (小泉勉委員・櫻井美智子委員・土屋信幸委員・柳澤優子委員) 市(事務局):柳澤中央公民館長、工藤課長、三石浅間公民館長、土屋野沢公民館長、浅川中込公民館長、浅川東公民館長、小山臼田公民館長、小林浅科公民館長、井出望月公民館長、清水、佐藤
【主な内容】 会議事項	
(1)佐久市教育振興基本計画について	
事務局	資料1により、公民館に関連するものや、前回審議会で意見が出た事項に関し説明。
委員	資料1-3ページ、「ウ 多様な学びの居場所づくりの推進」の今後の主な取組について、「地域公民館や学習グループの相談にきめ細かく対応する」とあり、ぜひ活動への支援をお願いしたい。
事務局	地域公民館の例を挙げると、新型コロナの影響が落ち着きつつある中で、活動を再開している館がある一方で、全く動きがない館もある。市としても活動したいといった相談にきめ細かく対応していきたいと考えている。
委員	資料1-4ページ、「イ 社会教育施設の充実」の今後の主な取組中、「利用者の利便性やサービス向上のため、低コスト化や…」とあるが、使用料の低コスト化などぜひ進めてもらいたい。
(2)参加者アンケート調査報告書(令和4年度)について	
事務局	資料2に沿って説明。
会長	アンケートの設問で3年以内に佐久市へ転入された割合が8%とあるが、移住者から講座に参加しての感想などは寄せられているか。
事務局	特段、移住者からの声などを集めていることはしていないが、新しい土地に移って来た時に、公民館講座などでつながりができていくことはとてもいいことだと思う。
会長	移住者に向けても講座のPRをしていってほしい。
(3)公民館関係施設の利用状況について	
事務局	資料3に沿って説明。
(4)令和5年度学級・講座事業計画について	
事務局	資料4に沿って説明。
委員	各館でスマホ教室が計画されているが、先日テレビで、中学生が補助しての教室が取り上げられていた。そのようなやり方も取り入れてみては。

事務局	今年度、佐久大学の学生ボランティアを募り、スマホ教室の補助をしてもらう予定だったが、ちょうどコロナの感染拡大の時期に重なり、集まらなかった。次年度以降もぜひやりたいと考えている。
委員	浅間公民館は初心者向けとうたっているが、何か特徴はあるか。
事務局	どの館も初心者向けであるが、単純に使い方だけを教えるのではなく、たとえば図書館では「デジタル図書」でスマホから電子書籍を借りてよむことができるとか「LINE市役所」で災害情報を入手したりごみの捨てる日がわかったりと、いろいろ便利な使い方ができるということも伝えていきたいと考えている。
委員	中込公民館ではスマホ教室は計画していないか。中込の商店会では野沢南高の学生に協力してもらってスマホ教室を開催している。
事務局	資料には載っていないが、中込公民館でも開催したいと考えている。当館では他の講座等で中込の店舗などと連携しており、スマホ教室でも連携できることがあれば取り入れていきたい。
委員	お礼と宣伝になってしまうが、中佐都小では今年度、クラブ活動の講師を地域の方にお願いするにあたり、中央公民館に相談したところ、様々な方を紹介いただいた。児童を学校の中だけで育てるのではなく、地域の宝として、地域で育てていくことが重要であり、公民館活動とつながることができたことがありがたかった。
委員	市内の小・中学校へ食育のためにグループで出向いて交流しているが、常々感じることは、子ども達のこれからの食が心配だということ。伝統食など、昔からの日本の味を伝えていきたい。そういったことに協力の依頼があれば喜んで協力させて頂く。
委員	他の委員からも指摘されているように、子どもを地域で育てる、コミュニティスクールをもっと進めていく必要がある。学校としても、遠くから先生を呼ぶより地域の人をお願いすればいろいろと教えてくれる。そうすると全体のレベルが上がり地域の発展や人づくりにもなる。
会長	公民館とコミュニティスクールとの関わり方は現状どうなっているか。
事務局	7つの地区館は中学校区単位で設置されており、館長の大半がコミュニティスクールの運営委員として加わっている。
委員	学校で地域の方に協力を依頼する仕組みとしては生涯学習リーダーバンクもあるが報酬を伴うことが多いので、学習グループに協力してもらう方がいいのではないか。それから人気のある講座はすぐいっぱいになってしまうということなので、初心者優先するなどの対応も必要かと思う。
事務局	過去の審議会でもそういったご意見を頂いており、人気の講座の中には初心者を優先しているケースもある。
<b>(5)生涯学習センターの概要について</b>	
事務局	資料5により説明
委員	旧野沢会館は令和元年の東日本台風の際は避難所となった。新施設も避難所になっているか。
事務局	生涯学習センターは引き続き、指定緊急避難場所という位置づけである。当館は受電設備を屋上に設置するなど、災害時の避難を想定したつくりになっている。
会長	以上で会議事項は終了します。